



“ぎまままに”
川柳

今月のお題
新時代

令和時代 皆が願う 豊かな暮らし 加藤正光	時代波 八十路の坂は 四苦八苦 森本千代美	希望もち 花咲かせたい 新時代 シヨージ	新時代 和を広げて 地に植える チロ	新時代 家族そろって 令和かな 小阪辰夫	今月に 和気あいあいと 幕があき ほこべん	新ページ 〇話(レイワ)の始まり いざ行かん ニユン	新時代 令和に願うは 平和かな ダンニヤバード
--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------

6月1日号の投稿募集
お題は「梅雨」です(1人1句)。
締め切りは5月17日(金)です。

応募方法
住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。
〒509-5192(住所不要) ☑ koho@city.toki.lg.jp
☎ ☎ 1111(内線613) / FAX ☎ 7750
※応募多数の場合は採用されないことがあります。



わたしの ほやねさん

「ほやねさん」とは…
つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って
「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

恥ずかしながら、私のほやねさんは息子だったのです。抱っこが好きで、眠るときは必ず手を繋ぎたがった息子も、多感な思春期と反抗期を人並みに経て、成人しました。あんなに手こずらせた息子が、私のほやねさんになっていたんだと気付いたのは、ほやねさんのエッセイを読むようになってから。

毎日仕事で帰宅が遅い私。難題も多く、仕事と家事に追われ、日々の生活や気持ちに余裕がない毎日。遅い夕食の後、片付いたテーブルに着いて、コーヒーを飲む時が、私のホッと一息できる時間。



ある晩、いつもどおりコーヒーを飲んでいると、息子もジュースをコップに入れて私の前に座り、「母さん、どうした?疲れてるやろう。仕事大変かあ。何が大変なの?」。私の仕事のことなんて、少しも興味を示さなかったのに、突然、何?今日は聞いてくれるの?と心の中で私。ここぞとばかり話し始めると、切羽詰まった状態や様々な不安が溢れ出てきます。息子は黙って「ふん、ふん」と頷きながら聞いてくれ、ジュースも二杯目に。私がひとしきり話し終わったところで「母さん、何でも話せばいいよ。俺聞くで。今頑張って自分が乗り越えた壁は、いつか自分を守る盾になる、って言うよ」と私を励ましてくれました。

「俺聞くで」と言った息子も上京し、時折帰省しても友人と遊びに出かけてしまうので、「私の話、一体いつ聞くんよ」と笑ってしまうのですが、そういう息子がいるというだけで、私の心はいつもほっこりしています。

今、私の横で気持ちよく鼻歌をうたっている娘も、私のほやねさんになってくれるかな。いいえ、もうなっくてくれているのかな。

ペンネーム ころん(肥田町)

募集

掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに出会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

応募方法
住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。
〒509-5192(住所不要) ☑ machisui@city.toki.lg.jp
☎ ☎ 1207 / FAX ☎ 7763